

1. 事業の目的

2. 事業の内容

- 令和6年度:令和6年10月24日～令和7年2月21日
令和7年度:令和7年5月16日～令和8年2月20日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
- a. 発電形式 : 流込式(水路式)
b. 使用水量 : 1.68m³/s
c. 有効落差 : 146.22m
d. 出力 : 2,009kW

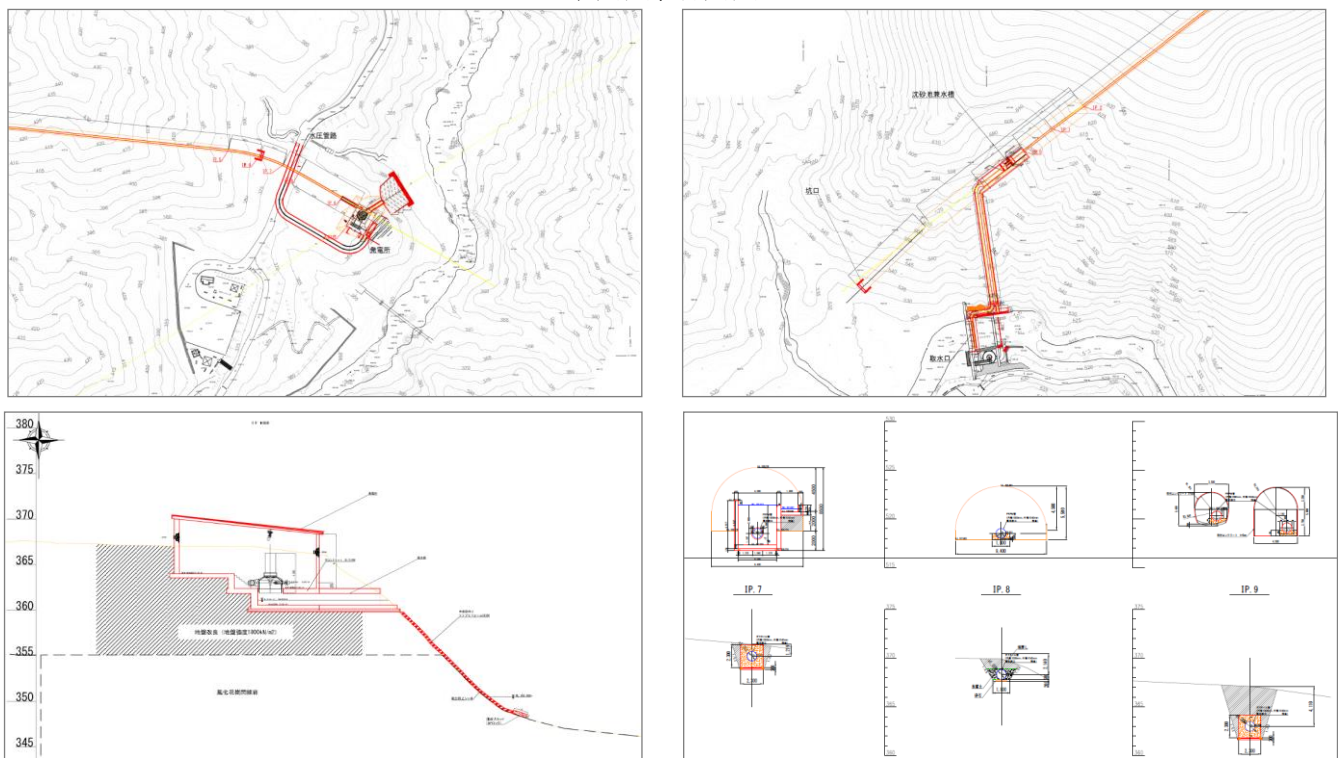
3. 令和6年度および令和7年度の事業実施概要

- #### 4. 事業の成果等

- (2) 令和7年度
ボーリング調査により、当初計画した水槽や水圧管設置部の工事影響範囲および工事費の推定がなされ、これにより導水路ルートの変更を行うこととした。また、弾性波探査により地中深くの地質やその強度を推定し、各地質強度に対するトンネル断面構造の設計の基礎データとした。
上記調査およびトンネル施工計画も踏まえた取水口、水槽、発電所の平面・断面等の基本設計を行い、有効落差を算出することで年間発電電力量を算定することができた。

以上から、当初想定した取水方式や導水路ルートから計画変更し、最善の設計と発電電力量の試算によって、事業性評価を行ったが、結果事業性は無しとなった。

<平面図、断面図>



5. 事業スケジュール

[illegible]

ボーリング調査



弹性波探查

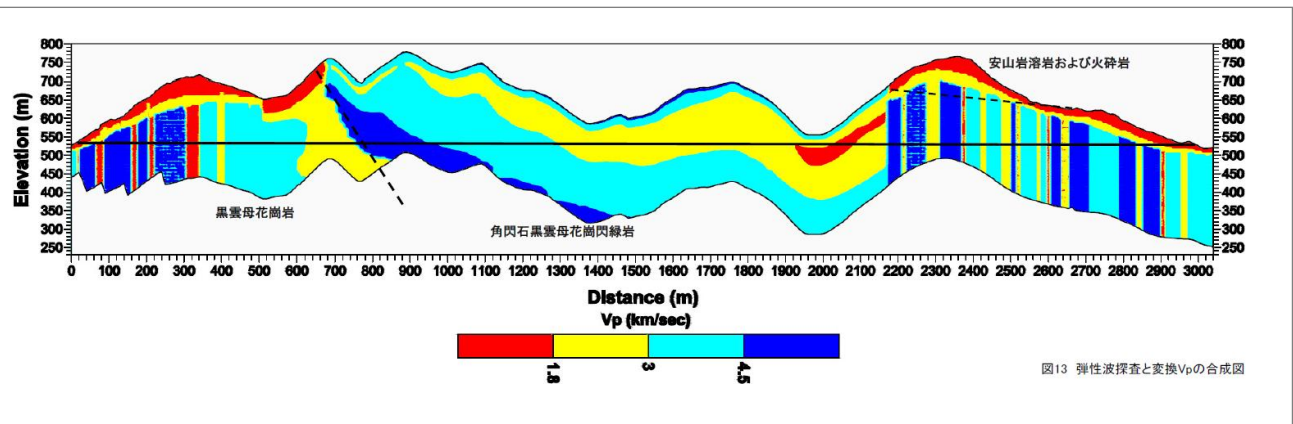


図13 弾性波探査と変換 V_p の合成図

地質図